

第三章 調査・研究方法

3-1 はじめに

本研究では、分散・集中処理型生ごみ堆肥化システムの現状を把握し、その問題点等を明らかにするため、同システムを採用している自治体・事業者・NPO を対象とした調査を行うことにした。本章では、その詳細について述べる。

3-2 調査対象

- 事業を始めたのがほぼ同時期の 2002 年
- 現地に行ける距離にある
- 互いに他方の事例の視察などを行ったことがある
- 他に分散・集中処理型の都合のいい事例を見つけられなかった

上記 4 点の理由から、三重県ごみゼロホームページ地域循環ネットワークモデル事業報告書に掲載された生ごみに係る先進事例より甲賀市と桑名市で行われている堆肥化の事例を研究対象とし、下記の 4 者を調査対象とした。

[自治体] 甲賀市・桑名市

[事業者] 株式会社水口テクノス

[NPO] 輪リサイクル思考

3-3 調査方法

本研究は、以下のような順序で行った。

文献・インターネット調査

E-mail 調査

現地視察・ヒアリング調査

3-3-1 事例の概要に関する調査

3-3-1-1 調査目的

分散・集中処理型の生ごみ堆肥化を実際に行っている事例について、実施主体、場所、対象、堆肥化方法等を把握する。

3-3-1-2 調査方法

三重県ごみゼロホームページに掲載されている地域循環ネットワークモデル事業報告書により 3-2 に挙げた調査対象を選定し、各対象の名称をキーワードとしてインターネット検索エンジン google を用いて検索を行った。その結果得られた各調査対象のウェブサイト等

から情報収集を行い、掲載されていない事項については E-mail による質問・資料送付の依頼を行った。

3-3-1-3 調査項目

対象
主体
初期投資
システムフロー
収集・運搬主体
収集容器
収集場所
生産物の利用先
問題点
今後の展開

3-3-2 普及のプロセスと参加者の動向に関する調査

3-3-2-1 調査目的

各調査事例について、事業を始めることになった理由、システム選定の経緯、参加者数・対象地域の変化などの普及のプロセスと参加者の動向に関する歴史的経緯を把握する。

3-3-2-2 調査方法

3-3-1-2 調査方法に加え、各事例の視察及び担当者へのヒアリング調査を行った。

3-3-2-3 調査項目

主体者

- ・市の担当課
- ・事業者について（名前，従業員数）

市と事業者の関係

- ・協働を始めたきっかけ
- ・事業分担

堆肥化へ注目したきっかけ

- ・行政側の理由
- ・事業者側の理由
- ・それまでの処理方法にどんな問題点があって堆肥化を考えたのか
- ・なぜ堆肥化なのか

堆肥化システム選定の経緯

- ・他のシステムは考えなかったのか
- ・どの点を優先して決めたのか
- ・現行システム採用の理由
 - 参加方法
- ・参加の条件は？
- ・説明会の開催状況とその内容、参加者数
- ・申し込み方法
- ・申し込み後に行う必要があることは何か
- ・申し込み後、いつから始められるのか
 - 参加者
- ・参加者の属性
 - 家庭で誰が参加を言い出したか
 - 生ごみ分別を主に行っているのは誰か
 - 回収場所への持込を行っているのは何人世帯
 - 住んでいる所
 - 庭や家庭菜園の有無
- ・参加の動機
- ・継続できているか
- ・やめた理由は
- ・参加世帯数の推移
 - 近隣住民との関係
- ・今までに近隣住民からの苦情やトラブルなどはあったか
- ・施設建設の際、近隣からの反対等があったか、説明会などは
- ・近隣住民との取り決めなどはあるのか、またその取り決めを行うようになったきっかけは
 - 対象地域の推移
- ・規模拡大の理由
 - PR 方法
- ・主な PR 方法は
- ・評判の口コミによる拡大は
 - 外部からの視察の状況
- ・どこのどのような団体が視察に来ているのか
- ・視察対象になった理由
 - 現在出ている問題点とその対応
 - 今後の展開予定
- ・家庭系だけでなく事業系食品廃棄物も対象にすることは考えているか

- ・どの程度の規模まで拡大しようと考えているか、またその形態は

3-3-3 堆肥化に関わる物資の流れに関する調査

3-3-3-1 調査目的

投入される生ごみと副資材の量及び生産される堆肥の量を把握し、堆肥化における物資の流れをモデル化することにより、各事例の将来像を予測する。

3-3-3-2 調査方法

3-3-1-2 調査方法に加え、各事例の視察及び担当者へのヒアリング調査を行った。

3-3-3-3 調査項目

材料の回収

- ・どこから、何を、どれだけ

堆肥化

- ・1次処理での投入量,堆積期間,減量率
- ・2次処理での投入量,堆積期間,減量率
- ・完成した堆肥の量
- ・再度1or2次処理に回される量

配布

- ・堆肥生成量は
- ・堆肥配布量は
- ・配布した堆肥のうち、堆肥化の流れに戻るのは何%程度か（水口の場合）

参加者の増減による排出量の変化

ライフスタイルの変化による1世帯あたりの排出量の変化

季節などによる変動